

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

ハクサン染工株式会社本社工場
におけるボイラー更新事業

排出削減事業者名：ハクサン染工株式会社

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：三井住友ファイナンス&リース株式会社

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	ハクサン染工株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	ハクサン染工株式会社 本社工場
住所	〒920-0356 石川県金沢市専光寺レ3 番地の 11
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	三井住友ファイナンス&リース株式会社

（注）その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

ハクサン染工株式会社本社工場におけるボイラー更新事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は A 重油焚きボイラー2 基を LNG 焚きの高効率ボイラー5 基に更新し、CO₂ を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

ハクサン染工株式会社本社工場において、既設の A 重油焚きボイラー2 基を LNG 焚きの高効率ボイラー5 基に更新する。これによりエネルギー効率を改善し、さらに燃料を A 重油からより低炭素の LNG へ切り替えることにより、CO₂ 排出量を削減する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2013 年 1 月 28 日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年 4月 1日 ～ 2018年 1月 27日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

本事業では活動量・原単位は使用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

本事業では活動量・原単位は使用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、ハクサン染工株式会社本社工場において更新される A 重油焚きボイラー及び LNG 焚きボイラーから蒸気の供給を受ける設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後の LNG 使用量	ton	3179.2	各ボイラーに設置された流量計で計測。ただし、LNG を気化するために使用する量（ボイラーが生産する蒸気量の 1.5%）を差し引く。また、流量計の単位は Nm ³ であるため、kg への換算係数を乗ずる。	
	LNG の kg 単位への換算係数	kg/Nm ³	0.783	ガス供給会社提供の値	
ε_{Pj}	更新後のボイラー効率	%	87.3	カタログ値（高位発熱量時）	
ε_{BL}	更新前のボイラー効率	%	82.2	カタログ値（高位発熱量時）	
$HV_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料（LNG）の単位発熱量	GJ/kg	0.0545	J-クレジット制度のデフォルト値	
$CF_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料（LNG）の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0513	J-クレジット制度のデフォルト値	
$CF_{fuel,BL}$	事業実施前燃料（A 重油）の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	
	高位発熱量時から低位発熱量時への換算係数。		A 重油 : 0.950 LNG : 0.900	J-クレジット制度のデフォルト値	

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
H27 年度 (2015 年度)	1,048.4(ton)	54.5(MJ/kg)	0.0513 (tCO ₂ /GJ)	2,931.3(tCO ₂)
H28 年度	1,045.0(ton)	54.5	0.0513	2,921.6
H29 年度	1,085.8(ton)	54.5	0.0513	3,035.9
	EM _{PJ}			8,888.7(tCO ₂)

6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
H27 年度 (2015 年度)	60,684.9(GJ)	38.9(GJ/KL)	0.0708(tCO ₂ /GJ)	4,296.5(tCO ₂)
H28 年度	60,484.2	38.9	0.0708	4,282.3
H29 年度	62,850.1	38.9	0.0708	4,449.8
	EM _{BL}			13,028.6(tCO ₂)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
なし			
LE			

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	13,028.6(tCO ₂)
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	8,888.7 (tCO ₂)
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 (tCO ₂)
温室効果ガス排出削減量	ER	4,139(tCO ₂)

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
4756.4	4,478.5	277.9

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

$$\text{省エネ量} = 4,756.4 \text{ (kl)} - 4,478.5 \text{ (kl)} = 277.9 \text{ (kl)}$$

$$\text{熱量換算} = 184,356.8 \text{ (GJ)} - 173,586.8 \text{ (GJ)} = 10,770.7 \text{ (GJ)}$$

9 再生可能エネルギー利用量

該当なし

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
	t			